

広報九州



平成24年 8月10日

(2012年)

No 1687

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市西区宗町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

<http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/>



九州北部豪雨で発生した仙酔峠付近の被害状況＝阿蘇市

このため、昭和57年から平成22年まで熊本森林管理署が事業を実施した旧阿蘇民有林直轄治山事業個所も山腹崩壊などが多数発生しました。現在、旧阿蘇民直の施設は熊本県が管理していますが、この区域を熟知している九州森林管理局へ四三五基の溪間工の施設点検の依頼があり、森林管理局及び署の職員で

九州北部地方は7月11日から14日にかけて、梅雨前線の影響により集中豪雨に見まれ、熊本

本県阿蘇市乙姫の観測所で、1時間降水量が二〇八・〇ミリ、総降水量が八一六・五ミリなど、観測史上1位の

「これまでに経験したことのない豪雨」を記録しました。

熊本県の治山事業を支援 旧阿蘇民直区域の施設点検を実施

の取りまとめを延べ58人で行い、8月1日に熊本県へ調査結果を提供しました。

熊本県からは、「短期間で調査を実施していただき感謝。災害復旧予算の要求に活用させていただきます。」旨のお礼がありました。

私たちとしても、今回の調査で国有林の先輩たちが長年にわたり、施工してきた治山施設が、土砂や流木の流出を防止し、下流の人家などへの被害を食い止めていることを目にし、治山施

調査を行いました。

梅雨明けの炎天下の中7月19日から27日の現地調査、と調査



流木を抑止したスリットダム＝黒川本流



破壊された谷止＝黒川本流



調査打合せ行うスタッフ

設の効果を実感することができたことは有意義なものとなりました。業務多忙の中、協力をお願いをしたところ、多くの職員の応援を頂き、怪我もなく順調に調査を終えることができました。職員の方のご協力に感謝申し上げます。

(担当＝治山課)

自署の名山



佐賀森林管理署

鹿島森林事務所

首席森林官 鞭馬 一郎

佐賀県と長崎県の境に位置する多良山系に属する経ヶ岳は、多良山系最高峰の火山で、標高一、〇七五・七㍉を有し、標高一、〇〇〇㍉以上の山としては日本最西端に位置し、経ヶ岳の南東には多良岳があり、尾根伝いに縦走することも可能です。

多良山系最高峰の火山 『経ヶ岳』一〇七五・五㍉

経ヶ岳には、佐賀県側に3箇所、発生しています。

所の登山道が整備されており、年間を通じて県内外から多くの登山者が訪れています。しかし、鹿島森林事務所管内の奥平谷キャンプ場コースは、片道約一二〇分のコースですが、鎖を伝って登る岩場や馬の背などの危険な箇所も多く、滑落や遭難事故が

山岳事故の発生時における捜索救助及び多良山系などにおける山岳事故の未然防止を図るため、諸活動を組織的、かつ、効果的に推進する目的で、平成16年に関係市町、警察、消防署、地元消防団、森林事務所で組織する「多良山系等レスキューネット

トワーク協議会」が発足しました。

協議会では、登山道の所要所に番号の付いたレスキューポイントを設置し、緊急の際はその番号を連絡すれば救助の場所がわかるように整備したり、登山者の安全を守るため救助訓練などを毎年行っています。とは言っても多くの登山者が訪れており、中には「天気の良い日は毎日登



登山道途中にある「千年榿の木」

る。」という60歳代の女性もいます。その魅力は頂上からの三六〇度の大パノラマをはじめ途中にある千年榿といわれる大木や、天然岩の展望所などを求め登ると思われます。



設置されたレスキューポイント

【宮崎北部森林管理署】7月10日、宮崎県や市町村の担当職員及び林業関係機関や事業体、局署から56人が参加し、延岡市の畑国有林内の活用型保育間伐個所において、森林作業道の適正な線形の設定を目的とした現地検討会を行いました。堀幸夫署長や来賓挨拶の後、当署職員が現地や路網線形作成の進め方について説明。6班に分かれ現地踏査の線形設定の検討結果を発表し、活発な意見交換が行われました。なお、この検討会は作設技術の向上を図るため、施工後の線形を検証することとし、秋に第2回目の現地検討会を予定しています。



現地で路網線形作成の説明を聞く関係者＝宮崎北部



経ヶ岳山頂からの眺望1



経ヶ岳山頂からの眺望2

人のうごき

ソナー所長

林野庁研究・保全課技術開発班
企画調査係長

山本誠（宮崎署）

8月1日付林野庁長官発令
計画部森林技術センター所長
杉野恵宣（計画部企画官（自然再生担当））

林野庁業務課国有林野総合利用
推進班指導係長

八田健吾（北薩署）

九州局出向
山部秀巳（林野庁整備課）

8月1日付森林管理局長発令
指導普及課技術開発主任官

古川浩児（指導普及課）

林野庁業務課鑑定調整官
山形克明（計画部森林技術セ

指導普及課生態系管理指導官
濱田辰広（鹿児島署）

計画部企画官（自然再生担当）
石橋暢生（北海道局計画部企

指導普及課技術開発主任官
田中幸（計画課）

鹿児島署首席森林官
田中佳晴（指導普及課）

熊本署森林官
岩下真仁（熊本署）

職員厚生課安全衛生係長

中村重和（熊本署）

森林整備課保護係長

川口文明（職員厚生課）

治山課民有林治山係長
山部秀巳（林野庁）

北薩署業務第二課長

本田勝美（森林整備課）
熊本署経理係長

田中幸（計画課）

鹿児島署首席森林官
田中佳晴（指導普及課）

熊本署森林官
岩下真仁（熊本署）

宮崎署森林官

菅和光（計画課）

職員厚生課

井研市（宮崎南部署）

経理課
松本知子（熊本署）

計画課

下村龍也（熊本署）
林野庁出向

山本誠（宮崎署）

八田健吾（北薩署）

【鹿児島森林管理署】 昨今の

人と火山が共生するまちづくり



長崎県 島原市
市長
横田 修一郎さん

島原市の水瓶と言われる眉山の土砂の流出を防ぎ、住民や財産を守るために、毎年の治山ダムなどの工事や松くい虫の航空防除など、そしてこれまで長年、国の治山対策の実施によりまして、地域住民の安全が確保されており、国の取り組みに対して深く感謝します。ところで、本年5月には、島原半島において日本で初となる「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」が開催され、ジオパークの防災教育への活用など8項

目からなる「島原宣言」が全世界に向けて発信されました。また、本年10月には、和牛のオリンピックと言われる「第10回全国和牛能力共進会長崎県大会」が本市と佐世保市で開催されます。災害からの復興を果たした島原半島の魅力を全国に向けて発信していきます。今後とも、長崎森林管理署など関係機関との連携を深めながら、「人と火山が共生する」ジオパークとして、ジオサイトの保護・保全、研究・教育への活用、観光振興などに取り組み、島原半島地域の持続的な発展につなげてまいります。

島原市は、長崎県の南東部にある島原半島の東端に位置しており、その面積は82・78平方キロで、島原半島の約18パーセントを占め、地形は、中央部の眉山標高八一八・七メートルを中心として東側の有明海へ伸びる傾斜地となっています。

眉山の東斜面には一七九二年の大規模崩壊跡があり、崩壊下部より九十九島周辺の海域にかけては多数の流山が分布しています。

本市は、古くから湧水に恵まれた「水の都」といわれ、雲仙山系と市街地の背後にそびえる眉山、それらの緑に涵養された豊富な地下水は、市内の随所に湧き出、その清流は、街中を幾条にも貫き、有明海に注いでいます。



情報交換会へ参加した関係者（鹿児島）

木材価格急落の対応策を話し合う情報交換会を鹿児島県の呼びかけで開催しました。交換会には鹿児島県や林業関係団体など約30人が参加し、素材生産の供給状況や木材市場における丸太価格の動向、また、チップ、建築用材などの需要動向について関係者から情報提供がありました。川上側の出席者からは、「森林・林業再生プラン」に基づき鋭意努力しているが出材抑制となると雇用にも影響が出て、地域や林業が衰退する。関係者が連携し木材需要の拡大に向けた取組みが重要との意見があり、需要拡大に向けた取り組みなどについて意見交換を行い更に連携していくことを確認しました。

お届け講座で「森林環境教育」

【宮崎北部森林管理署】7月10日、椎葉村立尾向小学校の全



樹木の説明を真剣に聞く児童ら＝宮崎北部

校生を対象に、森林環境教育を行いました。最初に「森林の役割と働き」について学んだ後、下級生は、紙芝居「森林からのおくりもの」や、三択による「木の名前当てクイズ」を行い、木の名前を覚えようと積極的に挑戦していました。上級生は、スポンジを使用した森林の保水力、木の名前の由来について学び、森林の現状と大切さや樹木に興味を持ったための学習の場となりました。

小瀬田小で森林教室を開催

【屋久島森林管理署】小瀬田小学校5、6年生を対象に治山事業について森林教室を行い、

ターに応募いたしました。

私とアマミノクロウサギとの出会うきっかけとなったのは、それは「神屋国有林」でした。

「奄美大島の観光案内ガイド」研修の夜間観察会実習の時でした。生きた化石「アマミノクロウサギ」が住めるのは、この素晴らしい森林のおかげだと思いました。

また、奄美大島にはその他に次の様な沢山の希少な生き物があります。少しですが紹介いたします。

ルリカケス、アマミヤマシギ、

森林の役割や水産業と森林の関係についてプレゼンテーションを行いました。児童らが前年度に植樹祭で植えた木々がどのような役割を持って生長するのか、熱心に聞き入っていました。座学の後は、治山工事施工個所にいき、山崩れが起こった後の処置の仕方、雨量の違いによる雨の降り方の実験やコンクリートの強度について講義を行いました。屋久島は雨が多い地域なので治山工事が大切ということや、興味深そうに聞いていました。

これからも、屋久島の自然と環境に興味をもってほしいと願いながら、今回の森林教室を終えました。

アマミトゲネズミ、アマミイシカワガエル、オーストンオオアカゲラ、オオトラツグミ、など限りがありませんのでこれ位にしておきます。

私達の住んでいる奄美大島の森林は本土とは少し違います。

戦前戦後の枕木などの伐採により、かなり禿山になりました。現在は、チップ用材やマツクイムシによる枯れなどによるものです。しかし、枯れる前に活用出来る物は活用して行くよ



治山工事施工個所で説明を聞く児童ら＝屋久島

官・民体でクリーン活動

うです。

我々に出来ることはなんでもうか・・・？

国有林モニターになって気付いた事ですが、間伐材を利用して出来た商品、名刺、コピー用紙などがあります。これからは、可能な限りその様なリサイクル用品を使用したアイテムとしたいと思います。

いついつまでも、奄美大島の森林を含め日本の森林が豊かに続く事を祈ります。

(鹿児島県奄美市在住)

「アマミノクロウサギ」の住む森林



榮 和朗さん



豊かな奄美大島の森林に住む「アマミノクロウサギ」がいついつまでも暮らして行ける奄美大島の森林であります様にと言いう気持ちを込めて、国有林モニ



重機により大型ゴミを回収する参加者＝熊本

【熊本森林管理署】「国民の森林」クリーン月間に併せ、金峰山周辺国有林で、クリーン活動を行いました。当日は、くまもと自然休養林金峰山地区保護管理協議会、熊本林業土木協会、請負事業体やボランティア団体など、約60人が参加。作業は、4グループに分け不法投棄の多い金峰山周辺の道路沿いのゴミ収集を行いました。林業土木協会から提供された重機類や大きな土のう袋は、大型ゴミの収集作業に大きな力を発揮しました。4時間近くの作業で大型トラック数台分のゴミが収集され最後に、熊本森林事務所の前井崇行森林官からお礼の言葉がありました。

塾の森 森林・林業の知識を体験 熊本県内小学校の先生20人が参加

8月6日、監物台樹木園において、熊本県内の小学校教諭20人が参加し「森の塾」を開講しました。今回で16回目となる当塾には、小学校で直接指導する教職員に体験を通じ森林・林業に対する理解と知識を深め学校での森林環境教育に活かしていただくことを目的に開いたものです。

はじめに「生物多様性における森林の役割について」や「シカ被害の現状と対策について」の講義を行い、生物多様性の観点から森林とシカの関わりを楽ししみながら理解する「シカと森林のカード」ゲームを行いました。



樹木の特徴について説明を聞く先生方

その後、同園内を散策し、樹木に触れながら、樹木名の由来や特徴などについて知識を深めました。

また、ネイチャーゲームで「葉っぱじゃんけん」や「葉脈のしおり」「木製ストラップ」「マイ箸作り」などの作品を作り感触を確かめました。

先生方からは「シカ被害の実態が理解出来た」、「シカと森林のカードを授業で活用したい」「教科書では知っていたが今回学んだことを教育現場で活用したい」など感想が寄せられました。



今、地元を賑わせている「島原半島ジオパーク」について紹介します。

このジオパークは、平成21年8月22日の認定から3年目を迎えるようとしています。

ジオパークとは、地質・地形が地球科学的に見て重要な特徴を複数有し、保全や教育、ツーリズムに利用しながら、地域の

「森の塾」が今後の教育現場における森林・林業の普及啓発に大きく期待出来る学習の場となったようです。

(担当：指導普及課)

ダムついで親木工教室を開催

【沖縄森林管理署】「森と湖に親しむ旬間」行事の一環として第19回漢那ダムまつりが開かれました。当署では、今年も職員総出で参加。西表島ややんばるに生息する希少な動植物のパネル展示や、森林や木材への理解を深めるための森林クイズを行い、クイズには183組の親子が参加しました。参加者の中から、木工教室の木製イスづくりを希望する親子80組が参加。

持続的な発展を目指すときれて島原地域は平成3年6月に火砕流が発生、43人もの尊い人命が奪われる大惨事となり、この噴火活動は平成7年まで続きました。

この地域は平成新山をはじめとして、普賢岳、妙見岳、国見山などが裾野に広がる地区であり、火山と一体となった地域で

木工教室で出来上がったイスに座ったり、立ったりした親子の喜んだ姿には充実感が感じられました。



木製イス作りに挑戦する親子＝沖縄

鹿児島大学が桜島治山事業の研修

平成16年に平成新山が国指定天然記念物に指定され、平成21年に世界ジオパークに認定されるなど、火山と一体化した取り組みを進めています。

こうした山々はほとんどが国有林であることから、長崎森林管理署としても、更に地域と連携し、地域振興に努めて参ります。

長崎森林管理署長

中原一則

【鹿児島森林管理署】鹿児島大学農学部への依頼を受け桜島地区民有林直轄治山事業地で同学部生物環境学科の学生27人に治山事業の研修を行いました。当日は、引の平地区から八谷沢の治山施行地で、治山事業の意義・これまでの経緯、今後の施工予定や保安林における治山事業の重要性・有効性と砂防事業の違いを説明。学生からは、「普段見れない角度から桜島を見ることで出来感動した。」「住民の暮らしを守る治山事業の現状は、噴火口に近く降灰など過酷な状況下での作業大変な思いをされているんですね。」との感想を聞きました。



職員の説明を真剣に聞く学生ら＝鹿児島

第2回実践
・公開講座

「絵手紙」を
森林の公益的機能など

監物台樹木園みどりの交流館
において第2回実践・公開講座
「絵手紙」を開催。当日は一般
公募により16人が参加しました。

講座は、濱田秀一郎指導普及
課長の挨拶の後、講師の九州イ
ンストラクター会松野親人氏が
暮らしを守る保安林の機能や森
林の公益的機能について講義。
その後、「描く物をよく観察し
て自分感性で色を作り、作品を
仕上げましょう。」と絵手紙の
書き方の説明を受け、受講生は
用意された色とりどりの夏野菜
や花などの中から題材を選び、
講師のアドバイスを受けながら



出来上がった作品を手にする受講生のみなさん

数枚の作品を完成させました。
最後にそれぞれの力作を額に入
れ、講師から講評を頂きました。
受講生の中には毎年楽しみに
されている方や、初めて参加さ
れ、「何十年ぶりに筆を握って
楽しい時間を過ごせた。もう少
し時間がほしかった。」などの
感想が寄せられ、好評のうち
に講座を終了しました。

(担当 川指導普及課)



夏の暑い盛りに咲く花として
誰でも存じの花です。名前は
姿、形からで、葉が狭く、幹が
直立してしなやかでモモに似た
桃色の花を咲かせることから付
けられています。原産地はイン
ド、観賞用として広く植えられ
乾燥や大気汚染に強いことから
道路の分離帯、工場敷地内に植
えられる常緑低木です。強い毒
性のある木で牛馬の中毒も報告
され、野外活動では、通直で適
当な大きさから箸に利用され中
毒を起こした例もあります。
キョウチクトウの花を思い浮

日之影小児童へ「森林環境教育」

【宮崎北部森林管理署】7月

5日、日之影町立日之影小学校
児童10人を対象に、森林環境教
育を行いました。最初に紙芝居
「森林からのおくりもの」によ
る森林の役割と大切さを学習。
校庭で種の模型を飛ばし、飛び
方が違うことを学んだ後、校庭
にある樹木の写真と照らし合わ
せ名前や特徴について説明を聞
きました。児童らは今回のお届
け講座で「森林の大切さ」を実
感した一日となったようです。

59 キョウチクトウ(キョウチクトウ科)

かべて下さい。ティカカズラ、
ツルニチニチソウ、キョウチク
トウとキョウチクトウ科の花弁
は回旋状になっているのが特徴
です。キョウチクトウは正常に
成長するために、特殊な気体を出して、周りの植物が自分より
大きくならないように工夫(成
長阻害・アレロパシー)してお
り、セイダカアワダチソウも同
じような働きがあります。さて、
葉はどのような形にしているの
でしょう。

広島県では原爆投下後真っ先
に生えたことから「広島市の花」
に指定されています。樹木園の



校庭で樹木の説明を聞く児童ら
川宮崎北部



毎朝家の近くの公園を犬と散歩する。土日には時々夕方方も散歩するが、盆前になると赤いトンボを見かける▼小さい頃「しょうろトンボ」と言っていた▼年寄りから「ご先祖様が乗って来る。捕まえてはいけない」と言われたことを覚えている。何か尊さを感じていた▼このトンボ、調べてみると正式の名前はウスバキトンボ(薄羽黄トンボ)といい、毎年東南アジアから南西諸島を伝って来るばるやってくる▼また、このトンボのヤゴは、日本の寒い冬を越せないため死んでしまい、ほんのひと夏だけ日本で過ごす儂い命とある▼転動した先で、時季になると現れて、盆が近づいたことを知らせくれ、先祖供養(故郷へ帰省)を思い出させてくれた▼今回の九州北部豪雨災害で故郷が無惨な姿になった。私の実家は難を逃れたが、死者二十数名や家屋を流されたり損害を受けた者が多数いる▼被災された人々がどんな思いで盆を迎えているかと思うと、胸が痛む▼災害の無い安全で安心して暮らせる環境作りが急務である。

(一)